

●平成7年度の一般会計 1,655億、特別会計 1,307億、計 2,962億を認定しました。年々厳しくなる財政状況の中ですが念願の、駅北口地下駐車場、総合病院用地の取得、学園都市センターや生涯学習センター等21世紀に向けての大型プロジェクトが目白押しの大切な年度です。

●予算審査特別委員会では、硬直化している市営住宅の入居状況についてお伺いし、本来の目的からはずれている高額所得者への空け渡しの対応を求めました。今後は本市の住宅都市整備公社による住宅供給に力を入れ、たとえば期限を20年に設定し、家賃の一部を積立て、利息を含め退居時に新居の頭金の一部になるような、積立付住宅を提案しました。

●本市が出資し、債務補償をしている(株)八王子テレメディアの運営については、平成4年の再建計画とは異なる路線で加入者増がはかられている実態を質し、市が負担する公共建物の電波障害による安易な加入や、エリア外への無理な延長傾向を指摘し、「どういう収支見込で延伸したのか」聞いたところ「採算が合うから。企業なので数値は言えない」という答弁のくり返しに、資料の提出をめぐり5時間に及ぶ質疑となりました。将来のメディア政策を担う公共性のある会社だからこそ市が人も金も出し、債務補償までしているのですから議会でチェックができないのなら完全民営にしろと申し上げました。ケーブルを延伸さえすれば利益になる特定大株主の主導ではなく、市民のテレビ局という現点に戻った堅実な経営を求めました。

●西宮市へ救援物資と共に被災地見舞いに行きました。目の当りにする惨状はテレビで観るのとは大ちがいで、自然災害のすごさに足が震える思いでした。近所付き合いが疎遠のため、家族構成もわからず、救助が遅れた話を直接お伺いし、改めて近隣コミュニティの大切さを感じました。

●いよいよ2期目に挑戦です。4年間の貴重な経験を礎に「もっともっと元気な八王子」をめざしてがんばります。この元気力通信16号が出せますように……皆様のご支援を伏してお願い申し上げます。